

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート(平成30年度分)

事務事業名	公園改修費										担当課	部課名	都市整備部公園課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	05	課等の長	政井 利信	電話	4341

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 48 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	公園緑地内の改修を行うことにより、利用者の利便と安全を確保しつつ、みどり豊かな都市環境の向上を図り、市民に憩いと潤いの空間を提供する。						
事業目的および必要性	公園利用者に対して安全で快適な利用環境を提供する。市民の憩いの場である公園の安全を確保するため、公園内遊具の点検、施設の維持補修工事を実施することは必要である。また、市の花「フジ」を活用した拠点とネットワークを整備するための手法として、維持管理を充実するほか、公園における健康遊具を充実することで、中高年の健康づくり等に役立てるとともに、幅広い年齢層の利用を図る。さらに、土砂災害警戒区域に指定されている公園法面の安全度を調査し、隣接住民を災害から守ることに寄与する。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等	法律等	都市公園法					
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社 保全屋 他) (委託等内容 : 公園内遊具の定期点検 他) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名		指針体系コード		その他の計画との関連			
健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進		4-2-3 1		本事業は「藤沢市健康増進計画」に位置づけられている。			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
まちと自然環境の調和がとれていること		3.3 点	3.3 点	3.5 点	3.52 点		
健康づくりを支える環境が充実しているか		3.2 点	3.9 点	2.96 点	3.1 点		

平成30年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	需用費	12,975 千円	公園施設修繕等
	役員費	3,622 千円	フジ管理作業等
	150,992 千円 委託料	44,010 千円	遊具点検委託, 埋蔵文化財発掘調査委託
	使用料及び賃借料	4,251 千円	奥田公園駐車場管制設備賃借料
工事請負費	86,134 千円	遊具改修工事, 健康遊具設置工事, 法面对策工事等	
【参考】 令和元年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容
	需用費	31,079 千円	公園施設修繕等
	役員費	11,479 千円	フジ管理作業等
	339,370 千円 委託料	5,278 千円	遊具点検委託
	使用料及び賃借料	4,291 千円	奥田公園駐車場管制設備賃借料
工事請負費	287,243 千円	遊具改修工事, 健康遊具設置工事, 法面对策工事等	

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
正規職員等	4.00	3.50	3.50	3.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.00	0.00
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	4.00	3.50	3.50	3.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

平成30年度 事業実施 内容	1 公園内遊具268公園1,054基の点検実施						
	2 フジのある7公園にて育成管理の実施						
	3 法面のある1公園にて対策工事の実施						
	4 老朽化した遊具のある6公園にて13基の改修実施						
	5 健康遊具を7公園に17基増設 等						
成果 目標	指標名	単位	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	備考
	公園施設の改修率	%	28	35	42	48	
	健康遊具設置数(累計)	基	112	130	142	172	
	参考又は上記指標名の設定ができない理由						
活動 実績	指標名	単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	備考
	改修実績件数	件	23	28	34	39	
	健康遊具設置数(累計)	基	113	138	157	181	
	数値で表せない効果						
成果 実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	公園施設の改修率	%	28	35	42	48	
	健康遊具設置数(累計)	基	113	138	157	181	
	数値で表せない効果						

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
支 出 コ ス ト	行政費用(フルコスト) A	89,437	155,429	144,729	184,342				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	88,087	157,244	145,608	184,719				
	事業費(支出済額-②報酬合計)	49,898	123,484	111,774	150,992				
	償還金利息	0	0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	38,189	33,760	33,834	33,727				
	職員数(常勤 非常勤)	4.00 0.00	3.50 0.00	3.50 0.00	3.50 0.00				
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167				
	①職員給与合計(常勤)	36,160	31,854	32,267	32,085				
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0				
	③退職金相当額	2,029	1,906	1,567	1,642				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,350	-1,815	-879	-377				
	①減価償却費	0	0	0	0				
	②退職給与引当金繰入額	1,350	-1,815	-879	-377				
	③不納欠損額	0	0	0	0				
	④その他()	0	0	0	0				
	行政収益(事業収入) B	21,100	30,400	39,500	42,700				
	(3)現金を伴う収入 (千円)	21,100	30,400	39,500	42,700				
	①分担金及び負担金 c	0	0	0	0				
	②使用料及び手数料 d	0	0	0	0				
③国庫支出金	9,000	18,000	10,000	13,000					
④県支出金	0	0	0	0					
⑤その他(起債)	12,100	12,400	29,500	29,700					
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0					
収入未済増減額	0	0	0	0					
収支差額(純費用)A-B E	68,337	125,029	105,229	141,642					
分析 指標	項目	公園施設の改修率	単位 %	35	単位 %	42	単位 %	48	単位 %
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		3,194,178.57	4,440,828.57	3,445,928.57	3,840,458.33			
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		162.47 420,619	294.11 425,105	246.15 427,501	329.92 429,317			
	受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00			

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成29年度末時点の課題	公園利用における安全性堅持のため、引き続き、遊具点検や施設改修を進めることが必要。 遊具改修については、老朽化や破損状況に応じて改修時期の修正が必要。 市の花「フジ」の充実を図るため、引き続き、育成管理を進めることが必要。 健康遊具の充実と活用を引き続き進めることが必要。 土砂災害警戒区域内に位置する公園の安全調査、対策を引き続き進めることが必要。
(2) (1)解決のための平成30年度の取組	公園利用者の安全・安心のため、遊具点検や法面調査などにより安全対策の検討を継続して行い、施設改修を進めるとともに、状況に応じて改修時期の見直しを行う。また、健康づくりの推進やフジの充実を図っていく。
(3) 平成30年度末時点の課題	公園利用における安全性を確保しつつ、引き続き、遊具点検や施設改修を進めることが必要。 遊具改修については、老朽化や破損状況に応じて改修時期の修正が必要。 健康遊具の充実と活用を引き続き進めることが必要。 土砂災害警戒区域内に位置する公園の安全調査、対策を引き続き進めることが必要。 トイレ等の施設の老朽化が進んでいる。
(4) (3)解決のための今後の取組	公園利用者の安全・安心のため、遊具点検や法面調査などにより安全対策の検討を継続して行い、また、長寿命化計画に伴う施設改修については、新たに改修計画を策定し、実施に向けて特定財源の確保を検討する。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの ○ エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ○ イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	ア=恒久的に実施するもの ○ イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成30年度支出済額	ア=300,000千円以上 ○ イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	ア=80%以上 ○ イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	ア=10%未満 ○ イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上
		(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
		3. 施設等維持管理	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進んでいる。 少子超高齢化が進むとともに、公園利用者の年齢層及びニーズが変化している。 公園をより長く、安全に使用する方策の検討が必要。 公園利用者の年齢層及びニーズの変化による施設の更新が予測される一方、より長く安全に使用し、利用促進・有効活用が図られる対策が必要となってくる。 	
他市等の事例	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画については、神奈川県内16市・2町において策定されている。 	
市民ニーズ	把握方法	管理業務を担う市民センター、公民館への苦情・要望をもとに、現地確認を行う。
	把握内容	現地確認をし、遊具の老朽化状況及び危険性を把握する。
	対応等	要望確認や遊具点検に基づき、施設を更新した。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<p>公園遊具等の安全点検や改修を進めることで、利用者の安全確保に寄与した。 市の花「フジ」の育成管理を徹底したことにより、花つきが良くなり、フジの育成が図られた。 健康遊具を増設したことにより、公園を健康増進の場として提供することに寄与した。 土砂災害警戒区域に指定されている公園法面について、工事を実施し安全対策が図られた。</p>	
今後の方針	まちづくりテーマ	④ 健康で豊かな長寿社会をつくる
	事業の方向性	事業拡大
	<p>公園利用者の安全・安心のため、遊具点検の継続や施設改修の拡大等による事故防止を図る。 市の花「フジ」の充実を図り、拠点づくりとネットワークの整備を図る。 超高齢社会に向けた健康づくりの推進のための健康遊具の増設、充実を図る。 法面調査と安全対策の検討を進め、緊急性のある法面から順次対策を講じ、公園隣接住民を災害から守る。</p>	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
12	都市公園の新設、改良及び修繕に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。
 ※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	藤村 勝己	確認日	2019/8/27
----	-------	----	-------	-----	-----------